

第 30 回近畿高等学校スポーツクライミング大会実施要項

1. 目的 高等学校登山部生徒の技術・体力の向上とスポーツクライミングの普及をめざす。
2. 主催 近畿地区山岳連盟
近畿高等学校体育連盟
3. 主管 京都府山岳連盟
近畿高等学校体育連盟登山専門部
京都府高等学校体育連盟登山専門部
4. 期日 令和7年(2025)10月18日(土) 9:00~16:00(予備日19日(日))
5. 会場 常翔啓光クライミングウォール
常翔啓光学園中学校・高等学校 大阪府枚方市禁野本町1-13-21 Tel072-848-0521
(京阪交野線宮之阪駅より徒歩7分)

6. 内容・日程

日 時	内 容	備 考
10/16(木)	ルートセット・大会準備	
10/17(金)	予備日	
10/18(土)		
8:00~	役員打ち合わせ	
8:30~	受付	
9:00~	開会式	☆予選 フラッシング・リード方式
9:30~	予選	男女別各1コース・制限時間4分
12:30~	昼食	
13:30~	決勝(女子→男子)	☆決勝 オンサイト・リード方式
		男女別各1コース・制限時間6分
15:30~	閉会式	
16:00	解散	

7. 競技規定 JMSCA スポーツクライミング競技規則ならびに本大会競技規則による。
■JMSCA スポーツクライミング競技規則は以下の URL からダウンロードできます。
https://www.jma-sangaku.or.jp/sports/sc_info/rule/



8. 参加資格 各府県高等学校体育連盟登山専門部に加盟し、(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会選手登録を完了している高等学校の生徒で、各府県の予選または推薦による参加資格を得た者。

9. 選手 72名(男子42名・女子30名)

	男子選手	女子選手
参加各府県	7名	5名

10. 服装 スポーツクライミングに適したもの
11. 用具 ハーネス・クライミングシューズ・チョークバック、ロープ(各自準備すること)

12. 参加費 (1) 4,500 円／人

(2) 参加費は申し込み時までに、下記口座に振り込みで送金してください。

京都中央信用金庫 北烏丸支店 普通口座 番号 0899838 (名義) 京都府高等学校体育連盟登山専門部 会計 系井剛志 (いといたけし) ※手数料は各校で負担をお願いします。
--

(3) 参加費は大会が中止された場合でも、全額返金できないことがあります。

13. 連絡事項

(1) 申込書への入力「Google Classroom」を使用します。申込は以下の手順で行ってください。

ア) 事前手続きとして、大会出場校の監督(教員)は至急、京都府の鎌原までメール連絡を行ってください。(メールアドレス: kyoto.h.tozan@gmail.com) 返信されたメールで「認証」をクリック(タップ)すると「Google Classroom」での入力が可能になります。 (返信メールの到着には数日かかります。事前手続きは余裕をもって行ってください) イ) 10月7日(火)までに、「Google Classroom」内の申込書に必要事項を入力してください。(選手の各府県内予選の順位、最高登はんグレード(わかる範囲で)、JMSCA 選手登録 ID を忘れずに) なお、入力内容は各府県専門委員長がオンライン上で随時確認できますので、メール送信は不要です。 ウ) 10月10日(金)までに、次の A. B 2つの書類の画像データ(写真)を、「Google Classroom」内の該当欄に添付してください。 A. 上記申込書を紙に打ち出し、所定欄に学校長印を押したもの(部長印はこの時点では不要) B. 参加費を送金した受領書 エ) 各府県で指定された期日までに、A. の押印済申込書を各府県の専門委員長に郵送してください。(各府県の専門委員長は A. の押印済申込書を取りまとめ、各府県の部長印をいただいでください。完成した申込書は大会当日、専門委員長から大会本部に提出してください。)
--

(2) 選手変更については、選手変更届を大会当日受付終了時までに大会事務局へ届け出てください。

(3) 予選で登る順番は、各府県の予選順位の低位からとします。

(4) 選手の各府県内予選順位、クライミング経験・オンサイト最高グレードを申込用紙に記入してください。

(5) 前泊泊については、幹旋しません。

(6) 昼食は各自で準備してください。

(7) 決勝進出者はアイソレーション・ゾーン内の決まった場所で昼食を取るようになります。あらかじめ、調理しなくても食べられる昼食を用意しておいて下さい。

(8) アイソレーション・ゾーンにビデオその他の記録用機器、携帯電話その他の通信用機器を持ち込むことはできません。

(9) 大会中の負傷等について、応急処置のみ行ないます。

(10) 10月16日からの大会準備期間中はルートセットのため、選手及びその関係者は会場付近に近づくことを禁止します。

(11) 荒天による中止の連絡は 10月17日(金) 11:00 に判断し、各府県の委員長を通じて連絡します。各府県で事前に連絡方法などを決めておいてください。

(12) 監督、応援の保護者等の車両の学園校地内への乗り入れはできません。近隣の商業施設等の駐車場(有料)をご利用ください。

(13) ご不明な点があれば、各府県にてご確認の上、下記の申込先へお問い合わせ下さい。

<申込、問い合わせ先>

〒 606-8558 京都市左京区岩倉大鷲町 89

同志社高等学校 下庄秀生(けしょう ひでお) 宛

TEL 075-781-7121 FAX 075-781-7124

e-mail hkeshou@js.doshisha.ac.jp

近畿高等学校スポーツクライミング大会競技規則

1. 競技内容

- 1) リード（指定されたルートを、選手が各クイックドローに順番にクリップしながら登る）方式で行い、ルートのラインに沿った獲得高度で順位を決定する。（個人種目）
- 2) ただし、当面トップロープ・バックロープ方式を併用することがある。トップロープ方式で行う場合、以下の規則の内、クリップに関わるものは除外する。
- 3) 競技時間は、予選4分前後、決勝6分前後とするが、変更がある場合は審査委員長が競技説明時に公表する。

2. 競技方法

1) 予選

- a) フラッシング方式で実施する。
- b) 登る順番は、各府県予選の下位からとし、府県順は別途定める。
- c) デモンストレーションについては当日予選開始前または事前の映像配信にて行う。
- d) 競技中
 - ① 選手の身体の全てが地面から離れたときをもってアテンプト開始とし、競技時間の計測を開始する。
 - ② 選手は随時、残り競技時間を確認することができる。
（トップロープ方式で実施の場合は、以下③～⑤は除外）
 - ③ 選手は、クイックドローのカラビナに順番にレジティメイト・ポジションでクリップしなければならない。この場合のレジティメイト・ポジションは（足で引き上げたりすることなく）手でクイックドローに触れることのできる範囲にあることを言う。このレジティメイト・ポジションにある限り、選手はクリップのためにクライムダウンすることができる。
 - ④ 安全上など特別な事情があるとき、特定のクイックドローについて、特定のホールドかその手前からクリップするように定めることができる。その場合は、その旨を競技開始前に全選手に伝達し、そのホールドとクイックドローは明瞭に青の十字でマーキングをし、オブザベーション中にも注意を与える。
 - ⑤ 2クリップがあった場合、選手は（必要があればクライムダウンして）2クリップとなっている（上下のクイックドローのうち）いずれかのカラビナの解除と再クリップをして修正しなければならない。修正後は全てのクイックドローにクリップされていなければならない。

2) 決勝

- a) オンサイト方式で実施する。
- b) 予選で下位のものから登る。
- c) アイソレーション
 - ① 指定された時刻までにアイソレーション・ゾーンに入らなければならない。
 - ② アイソレーション・ゾーンに待機中の選手は、競技を終えた選手、顧問（監督）、観客などと接触したり会話を交わしたりしてはならない。
 - ③ 選手は競技エリアにいる間を通じてアイソレーション状態にあり、いかなる方法であれ、競技エリア外にいる者に情報を求めることがあってはならない。
 - ④ 一切の電子通信機器を競技エリアに持ち込むことはできない。
- d) オブザベーション
 - ① オブザベーションは6分間とする。
 - ② 双眼鏡の使用と、手書きのスケッチと記録を取ることはできるが、ビデオその他一切の記録用機器の使用はできない。
 - ③ オブザベーション中に、オブザベーション・エリア外の者と連絡をとってはならない。
 - ④ 両足が地面から離れない状態でホールドに触れてもかまわない。
 - ⑤ そのルートに特別の事情やルールがある場合、ルートセッターが説明する。また、質問に答える場合、全員に聞こえるようにする。
- e) 競技中
 - ① 選手は、競技エリアに入った時から40秒間の最終オブザベーションの時間が認められる。この時間はそのルートの競技時間には含まれない。40秒経過後もアテンプトを開始しない場合、審判はただちにスタートするよう指示し、それでも登らないときは失格とする。
 - ② 選手は随時、残り競技時間を確認することができる。
 - ③ 選手は、クイックドローのカラビナに順番にレジティメイト・ポジションでクリップしなければならない。この場合のレジティメイト・ポジションは（足で引き上げたりすることなく）手でクイックドローに触れることのできる範囲にあることを言う。このレジティメイト・ポジションにある限り、選手はクリップのためにクライムダウンすることができる。
 - ④ 安全上など特別な事情があるとき、特定のクイックドローについて、特定のホールドかその手前からクリップするように定めることができる。その場合は、その旨を競技開始前に全選手に伝達し、そのホールド

- ドとクイックドロースは明瞭に青の十字でマーキングをし、オブザベーション中にも注意を与える。
- ⑤ Zクリップがあった場合、選手は（必要があればクライムダウンして）Zクリップとなっている（上下のクイックドロースのうち）いずれかのカラビナの解除と再クリップをして修正しなければならない。修正後は全てのクイックドロースにクリップされていなければならない。

3. アテンプットの完了

1) 完登の定義

リード方式 …… 競技時間内にルートの最終クイックドロースのカラビナ等にロープをクリップしたとき。
トップロープ方式 …… 最終ホールドを保持（片手でよい）したとき。

2) アテンプット終了

- a) 墜落した。
- b) 競技時間を超えた。
- c) デマケーションエリア（連続的かつ明確に識別できるように黒テープで使用制限された壁の一部、ホールド、はりばてなど）を使用した。
- d) クライミング・ウォールに開けられているボルト・オン・ホールド取り付け用の穴を手で使用した。
- e) クライミング・ウォールの左右または上端のエッジを使用した。
- f) ボルト、ハンガー、クイックドロースに登るために使用した。
- g) クイックドロースへの規則に従ったクリップを行わなかった。
- h) アテンプット開始後、身体の一部が地面に戻った。
- i) 何らかの人工的登攀手段を用いた。
- j) ロープにテンションがかかった。（自重をあずけた）
- k) 観客からルートやムーブの指示があった。（違反が明瞭な場合、選手は失格、観客は退場）停止事項があった場合、審判は競技の中止を命じ、停止事項が生じた時点のホールドの位置が記録となる。

4. 成績の判定

- 1) 成績は、競技終了時までには保持または使用したルートのライン上の最遠点のホールドで決定される。
- 2) ① 保持したホールドの高度には末尾記号をつけない。
② 保持し、その地点からルート上を前進するための動作を起こしたホールドの高度には（+）の末尾記号をつける。

5. テクニカル・インシデント

- 1) テクニカル・インシデントとは以下のようなものである。
 - a) ホールドの破損又は緩み。
 - b) クイックドロースのカラビナが正しい位置にない。
 - c) ロープが張られることで、選手の補助又は妨害になった。
 - d) その他、選手の動作の結果でないところの事柄が、選手に不利又は有利にはたらいた。
- 2) 選手が墜落し、それがテクニカル・インシデントに原因すると、その時点で申告した場合、選手は直ちに別に設けられたアイソレーション・ゾーンへ移され、調査結果が出るまで待たなければならない。
- 3) テクニカル・インシデントを被った選手は、別に設けられたアイソレーション・ゾーンでの回復期間（5人以内または最大20分後）を認められ、審査委員長は選手の再アテンプットの時刻を決定する。
- 4) 再アテンプット終了後、選手はそのアテンプットの中で達成した良い方の成績が認められる。

6. ランキングの決定

- 1) 決勝での順位を総合順位とする。
- 2) 決勝で同位(タイ)の場合は、予選順位が上位のものを上位とする。
- 3) 予選も決勝も同位の場合は、決勝の所要時間の短いものを上位とする。
- 4) 決勝に進まなかったものについては、予選の順位によって総合順位を決定する。

附則	平成 16 年 6 月 18 日第 09 回近畿高等学校スポーツクライミング大会運営会議にて	改正
	平成 21 年 6 月 26 日第 14 回近畿高等学校スポーツクライミング大会運営会議にて	改正
	平成 24 年 6 月 29 日第 17 回近畿高等学校スポーツクライミング大会運営会議にて	改正
	平成 25 年 6 月 28 日第 18 回近畿高等学校スポーツクライミング大会運営会議にて大幅改正	
	平成 29 年 6 月 23 日第 22 回近畿高等学校スポーツクライミング大会運営会議にて	改正
	令和 06 年 6 月 28 日第 29 回近畿高等学校スポーツクライミング大会運営会議にて	改正